

# 自分さがし講座

第1回 5月 9日(水) : 当事者研究 (講師: 向谷地 生良氏)

第2回 5月16日(水) : 当事者研究 (講師: 向谷地 生良氏)

第3回 5月23日(水) : 自分を語る (ワークショップ)

第4回 5月30日(水) : 自分取扱説明書をつくろう

第5回 6月 6日(水) : 働くを考え合う (講師: 志波 早苗氏)



場 所 / ワークスコープ池袋本部・8階会議室

住所: 東京都豊島区東池袋1丁目44-3 池袋ISPタマビル

時 間 / 17:00~19:00

募集人数 / 10名 (第1回・第2回参加必須)

費 用 / 500円 (第1回~第5回まで分含む)



●池袋駅東口徒歩6分

お問い合わせ: よいしごとステーション (10:00~17:00・土日祝日休み)

住所: 新宿区高田馬場3-8-5安永ビル2F ワークスコープ東京中央事業本部

内

電話: 03-5937-4501・FAX: 03-5937-2652

ホームページ: <http://goodjob.roukyou.gr.jp>

●自分さがし講座とは...

「よいしごとステーション」では、「誰もが働くにつながる」共育プログラムの最初のステップです。

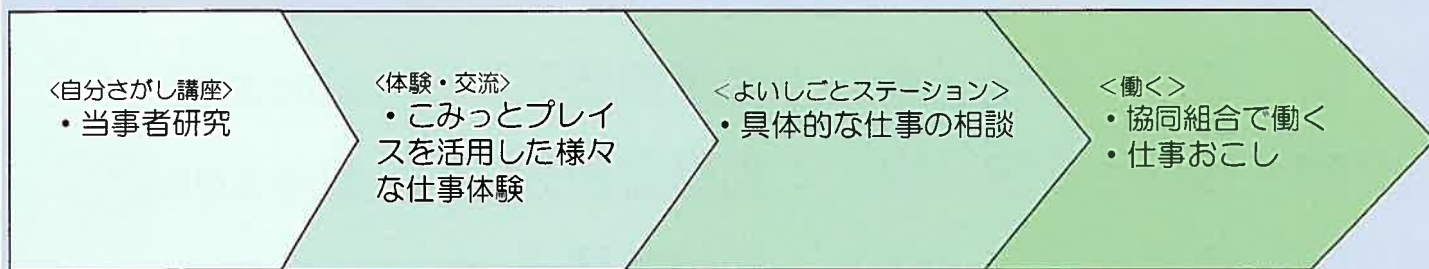
この共育プログラムは、働くことに困難を抱えている人が、経験や得意に着目して、協同組合組織での「働く」ことにつながる、また協同組合の資源による「働く」の開発をすることを目的としています。

講座の参加については、主に発達障がいがある就労希望の方を対象としています。

講座の内容として、向谷地生良氏を講師にお招きして、「当事者研究」を実践します。また、「働く」ことの変遷から現在までを志波早苗氏とともに理解を深めます。自分に向き合いながら、自分にとっての「働く」を見つけていく講座です。

講座終了後、希望の方には、「地域共生型就労拠点こみっとプレイス」で、仕事の経験や他者との交流の経験を積むことができます。

【誰もが働くにつながる」共育プログラムの全体イメージ】



<< 講師の紹介 >>



向谷地 生良氏

(浦河べてるの家ソーシャルワーカー・北海道医療大学教授)

1955年青森県生まれ。北星学園大学文学部福祉学科卒業。

78年北海道浦河町の病院に精神科専属のソーシャルワーカーとして赴任。84年、地域活動拠点「浦河べてるの家」を設立し理事、アドバイザーとして活動。精神障害をもつ当事者が自らの症状を含めた生活上の出来事を研究・考察する「当事者研究」を提唱。



志波 早苗氏

(一般社団法人くらしサポート・ウィズ事務局)

1956年東京都生まれ。立教大学経済学部経営学科卒業。パルシステム初期に組合員理事で3組織2度の合併に携わり「協同」に至るまでの生々しさと「協同」した時の可能性を自ら体験する。その後はスタッフで外郭団体での協同組合研究やくらし課題に対応する組織づくりを担当。特に現担当の相談事業から貧困/孤立・無縁、ひきこもり等現代社会の問題をリアルに感じ続けている。

<参加申込>

■お名前、ご住所、ご連絡先などの個人情報の記入欄を設けてありますが、それらの個人情報は今後のお知らせ以外の目的に使用することはありません。またご本人の同意なく第三者に提供することもしません。

下記の表に必要事項をご記入の上、下記までFAXにて送信してください。

下記の表に必要事項をご記入の上、下記までFAXにて送信してください。

フリナガ	所属（企業名、団体名、学校名他）
お名前	
ご住所 〒	TEL — — FAX — — メール @

参加申込書 FAX03-5937-2652